

図書館新聞

vol.19



学生図書委員のおすすめ本

1年生 テーマ：青春ミステリー



私を知らないで 白河三兎 著 集英社 2012年

本書は、第42回メフィスト賞受賞作家が描いた青春ミステリーである。また、「おすすめ文庫王国2013」にてオリジナル文庫大賞ベスト1を受賞している。転勤族の親を持つ主人公「僕」は転校先で美しい少女「キヨコ」と出会う。彼女のことが気になり、「僕」は尾行をしてしまう。それがきっかけで、彼女が抱えている秘密を知ることになる…。西尾維新作品や恋愛ものが好きな方にもオススメしたい作品。(1年 板持)

ようするに、怪異ではない。 皆藤黒助 著 KADOKAWA 2015年

高校入学と共に東京から鳥取県境港市にやってきた冬目皆人。入学式を終えた彼は落とし穴に落ちる。そこで落とし穴を仕掛けた筋金入りの妖怪マニア、春道兎鳥一通称、ハル先輩に出会い、妖怪研究同好会への入部を迫られるが皆人は妖怪が嫌いで…!?皆人の親戚の子どもである秋月隣太郎も加わって、突如妖怪絡みの事件に巻き込まれる!「要するに、これは怪異の仕業ではありません」爽やかでほろ苦い、青春ミステリー。(1年 景山)



2年生 テーマ：完結済のシリーズ

妖怪アパートの幽雅な日常 香月日輪 著 講談社 2008年

主人公の稲葉夕士は両親を事故で亡くし、叔父夫婦の家に引き取られて生活していた。高校は寮へ入って独立しようと思った矢先、火事で寮が燃えてしまう。なんとか探し出したアパートはなんと妖怪と幽霊と人間が同居している「妖怪アパート」で…。共同風呂は地下洞窟。「手首だけ」の賄さん、等々…。夕士はそこで様々な出来事や人達(?)に触れて成長していきます。全10巻+外伝全1巻。本が読むのが苦手…という人や読む時間がない!という人でもスッと読むことができるのでお勧めです。(2年 湊)



禁断のパンダ 拓未司 著 宝島社 2008年

2008年に出版された推理小説で、「ビストロ・コウタ」シリーズの第一巻です。フレンチビストロを営む柴山幸太は、ひょんなことからある殺人事件の捜査に協力することになります。美食に隠された事件の真相とは!?読後、作品タイトルの意味にほお〜と唸ってしまいました。第六回「このミステリーがすごい!」大賞に選ばれた作品でもあるので、ミステリー好きの方で未読の方はないかもしれませんね。「ビストロ・コウタ」シリーズは全2巻となっています。第二巻『蜜蜂のデザート』も必見です。(2年 渡邊)



司書さんのおすすめ本

テーマ：文豪の名作

谷崎潤一郎（ちくま日本文学全集 7巻）

谷崎潤一郎 著 筑摩書房 1991年

今回は、本書に収録されている「刺青」について紹介したいと思います。本作品の主人公である江戸の刺青（ほりもの）師の清吉には、ある夢がありました。それは、美女の体に刺青を彫ることでした。自分の理想に合う女を長年探し続けた彼は、遂に一人の娘と出会います。

私は、本作品ほど「怖いものみたさ」という言葉が似合う作品は中々ないと思います。自分の理想の美女に「刺青を彫りたい」という思いに駆られている清吉は、鬼気迫る雰囲気のを漂わせています。怖いのに、続きが気になる…そんな強い魔力のようなものを感じます。彼の夢は果たして叶うのでしょうか。是非、その目で確かめてみて下さい。

（松江キャンパス図書館司書 古徳さん）



高瀬舟（『山椒大夫・高瀬舟・阿部一族』より）

森鷗外 著 KADOKAWA 2012年

高瀬舟は、京都から島流しにされる罪人を護送する舟です。あるとき、弟殺しの罪人である喜助を高瀬舟で護送することとなった同心の羽田庄兵衛は、喜助が他の罪人とは様子が違うことに気がつきます。不思議に思った庄兵衛は、喜助に声をかけ、身の上話や弟を殺した訳を尋ねました。喜助の話聞くうちに、喜助のしたことが本当に人殺しと呼べるものなのか疑問を持ち始めた庄兵衛。お奉行様の判断に任せて従うしかないと考えながらも、庄兵衛の心には、どこか納得できない思いが残りました。

罪とは何なのか、何を持って罪と判断するのか。安楽死を扱った、深く考えさせられる作品です。

（おはなしレストランライブラリー司書 内田さん）



平成29年度8月までの活動報告

出雲キャンパス大学祭訪問

6月10日に出雲キャンパスの大学祭を訪問しました！出雲キャンパスの学生図書委員と島根大学の図書館コンシェルジュのみなさんと交流し、大学祭を楽しみました！ブックカバー製作のワークショップを体験させていただきました。



3キャンパス交流会

7月2日に島根県立大学3キャンパスの図書委員で集まり、松江が舞台となっている本の紹介と実際の場所を訪ねる旅として、「八重垣神社」と「玉造温泉街」を散策しました！



移動図書館車がやってきました

7月7日に松江キャンパスに松江市立中央図書館の移動図書館車「だんだん号」がやってきました。学生図書委員OBの職員の方に話を聞いたり、中の本棚を間近で見たりと貴重な経験をしました！



合同読書会

7月6日に開催された合同読書会では、公開講座「椿の道読書会」受講者と島根大学図書館コンシェルジュのみなさんと『夢をかなえるゾウ』についてたくさんの意見や自分の考え方を話し合いました！



歴代学生図書委員交流会

8月19日に行われた歴代学生図書委員交流会では、先輩方とお食事会をしました！



シンポジウム

9月5、6日の2日間において愛媛大学で開催された第7回大学図書館学生交流シンポジウムに参加しました。他の大学の活動の発表を聞いたり、テーマに沿って発表をしました。



おはなしマラソン

おはなしレストランライブラリーで子どもたちを対象に、おはなしマラソンを開きました！写真はPOPを10枚書いて特製の金メダルをもらった子どもたちと、POPの写真です！



お知らせ

読書マラソンについて

7月4日から開催している読書マラソンは、期間中に読んだ本の紹介を作成し、その出来栄や数によって素敵な商品がもらえる企画です！POP 部門と帯部門があり、POP は、絵が得意な人必見です！しかし、キャッチコピーやイラストを描くのが苦手な人でもたくさん本を読むことによって狙える読書賞もご用意しています！学生のみならず、たんくさんの参加をお待ちしています！開催期間は、10月11日まで、賞の発表・表彰については11月を予定しています！

飛鳥祭(10/14~15)について

去年に引き続き、図書館横のスペースでブックカフェを出店します！フルーツジュースや、本学図書館のマスコットキャラクター・らぶちゃんをイメージしたドリンク、フランクフルトを販売します。また、しおり販売も行います！本の読めるカフェスペースで、ゆったりお茶しませんか？テイクアウトも可能です。ぜひお立ち寄りください♪

一箱古本市(10/28)

松江市にあるカラコロ工房で、BOOK 在月の主催する一箱古本市が開かれます。各出店者が段ボール箱一つ分の古本を持ち寄り、古本屋の真似っこを楽しむ催しです。図書委員会も参加を予定しています。参加にともない、学内の皆さんから出品する古本を募集いたします。読まなくなった本が、誰かの特別な一冊になるかもしれません。食堂カリオン前に古本 BOX を設置するので、ぜひご協力お願いします。

古本市の会場ではビブリオバトルの開催や、ワークショップ、美味しい店の出店も！読書の秋を満喫しちゃいましょう(*^.*^)

(BOOK 在月とは→<http://ariduki-book.wixsite.com/book-ariduki>)

図書館総合展(11/7~9)

横浜で開催される、全国の図書館関係者などが集まり図書館について様々な面から考えるイベントです。本学図書委員も参加予定です。

また、イベント内で開かれる「図書館キャラクター・グランプリ」には、本学図書館マスコットのらぶちゃんがエントリーします！去年はMC 賞をいただいたらぶちゃん。今年も健闘しますよ～！応援よろしくをお願いします！

しまね大交流会(11/18)

松江市のくにびきメッセで開催される、しまね大交流会に参加予定です。地域の学生が企業や団体と交流したり、学生も自身の学びを発信したり、情報交換をすることで自身のキャリアを考えるという催しです。

編集後記

この度、初めて図書館新聞に携わり、「おすすめ本」を担当いたしました。「おすすめ本」を紹介するにあたり、多くの方にご協力いただきました。ありがとうございました。見やすいレイアウトを心がけましたが、どうでしたか。なかなか納得できるものが作れず、予想以上に時間がかかりました。完成した時には達成感がありました。紹介された6冊の本に、少しでも興味を持ってもらえる嬉しいです。

(1年・板持)

初めて図書館新聞の製作に携わり、活動報告を担当しました。不安な部分もたくさんあり、過去の新聞を参照するなど手探りではあったものの、司書さんの方々にも助けていただき、無事に記事を作成できてよかったです。写真提供など本当にありがとうございました。(1年・景山)

図書委員会活動日誌

ブログ



Facebook



Twitter



去年に引き続き今年度も図書館新聞を作ることになりました。今回は「表紙」を担当させていただきました。図書館新聞の中で最初に目に入る部分を作成することになってうまくできているか心配です。しかし、自分なりに頑張って作りました！ぜひ手に取ってじっくりみてください。ここまで来たので次回も担当したくないところを作りたいです。ありがとうございました！

(2年・湊)

今年も図書館新聞の担当になりました。今回は編集後記の頁を作らせていただきました。また、すべての記事をまとめることもさせていただきました。みんな頑張って担当頁を作ってくれて、本当に偉いです。図書館新聞の各頁は、担当者がそれぞれに工夫を凝らして作っています。読者の皆様に少しでも楽しんでいただけていたら幸いです。ここまで読んでくださりありがとうございました。次号もぜひ！よろしくおねがいます！

(2年・渡邊)

